

平成 16 年度一般会計収支計算書
平成 16 年 3 月 1 日から平成 17 年 2 月 28 日まで

1. 収入の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
(1) 会費収入	77,120,000	77,832,000	- 712,000	
正会員会費収入	70,000,000	70,110,000	- 110,000	@10,000 円 × 7,011 人
賛助会員会費収入	4,200,000	3,570,000	630,000	@30,000 円 × 119 人
購読会員会費収入	1,920,000	1,812,000	108,000	@12,000 円 × 151 人
過年度会費収入	1,000,000	2,340,000	- 1,340,000	
(2) 助成金収入	3,800,000	4,900,000	- 1,100,000	
医師会助成金収入	200,000	200,000	0	
学術定期刊行助成金収入	3,600,000	4,700,000	- 1,100,000	科研費
(3) 事業収入	2,400,000	2,818,400	- 418,400	
広告料収入	1,200,000	1,098,400	101,600	
投稿超過頁収入	800,000	1,160,000	- 360,000	
別刷収入	400,000	560,000	- 160,000	
(4) その他収入	2,010,000	6,379,403	- 4,369,403	
受取利息	10,000	8,558	1,442	
役員改選積立金取崩収入	1,000,000	1,000,000	0	
雑収入	1,000,000	5,370,845	- 4,370,845	第 77 回学会余剰金 500 万円
当期収入合計	85,330,000	91,929,803	- 6,599,803	
前期繰越収支差額	74,153,872	75,263,466	- 1,109,594	
収入合計	159,483,872	167,193,269	- 7,709,397	

2. 支出の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
(1) 事業費	65,400,000	62,563,318	2,836,682	
① 機関誌費	32,800,000	32,375,513	424,487	
印刷費	20,400,000	22,497,082	- 2,097,082	
編集費	3,600,000	2,745,390	854,610	
編集委員会費	1,600,000	587,630	1,012,370	
発送費	7,200,000	6,545,411	654,589	
② 助成金支出	26,400,000	25,686,240	713,760	
学会開催助成金支出	7,000,000	7,000,000	0	
部会助成金支出	3,000,000	3,000,000	0	産業医, 産業看護, 産業衛生技術
地方会助成金支出	10,500,000	10,276,500	223,500	@1,500 円 × 6,851 人
委員会費	3,300,000	2,809,740	490,260	許容, 生涯, 法制度, 専門医, 倫理, 作業
研究会費	2,600,000	2,600,000	0	26 研究会
③ 国際交流費	1,500,000	453,690	1,046,310	
④ データベース開発運用費	1,700,000	1,585,576	114,424	
⑤ 産業保健指導医研修費	3,000,000	2,462,299	537,701	
(2) 管理費	25,690,100	16,616,818	9,073,282	
① 運営費	6,000,000	3,152,563	2,847,437	
総会費	1,000,000	1,111,040	- 111,040	
理事会費	1,500,000	1,015,030	484,970	
役員改選費	1,500,000	286,400	1,213,600	
広報費	1,000,000	94,000	906,000	
会員報奨費	500,000	532,893	- 32,893	
運営雑費	500,000	113,200	386,800	
② 事務費	19,690,100	13,464,255	6,225,845	
給与手当	12,000,000	7,151,808	4,848,192	
法定福利費	1,800,000	1,113,851	686,149	
賃借料	2,690,100	2,690,100	0	
通信費	1,200,000	942,870	257,130	
消耗品費	800,000	545,508	254,492	
雑費	1,200,000	1,020,118	179,882	
(3) その他支出	7,630,000	6,630,339	999,661	
事務機器購入支出	1,000,000	0	1,000,000	
役員改選積立金支出	0	150	- 150	
名簿発行積立金支出	1,300,000	1,300,090	- 90	
退職給与積立金支出	330,000	330,099	- 99	
新事務所取得積立金支出	5,000,000	5,000,000	0	
(4) 予備費	2,500,000	0	2,500,000	
当期支出合計	101,220,100	85,810,475	15,409,625	
当期収支差額	- 15,890,100	6,119,328	- 22,009,428	
次期繰越収支差額	58,263,772	81,382,794	- 23,119,022	
支出合計	159,483,872	167,193,269	- 7,709,397	

※資金の範囲には、現金預金及びその他の流動資産、流動負債を含めている。

※繰越収支差額の内容は以下の通りである。

現金預金	94,695,914	未払金	59,800
未収入金	417,500	預り金	38,120
立替金	7,027,300	前受金	20,660,000
	次期繰越収支差額		81,382,794

平成 16 年度一般会計貸借対照表
平成 17 年 2 月 28 日現在

科目	金額	科目	金額
1. 資産の部		1. 負債の部	
(1) 流動資産		(1) 流動負債	
現金	112,150	未払金	59,800
普通預金	13,903,925	預り金	38,120
郵便振替	52,679,839	前受金	20,660,000
定期預金	28,000,000		
未収入金	417,500	流動負債合計	20,757,920
立替金	7,027,300	(2) 固定負債	
		退職給与引当金	9,265,400
		固定負債合計	9,265,400
流動資産合計	102,140,714	負債の部合計	30,023,320
(2) 固定資産		2. 正味財産の部	
基本財産積立金	3,000,000	(1) 正味財産	
役員改選積立金	500,150	正味財産	94,483,133
名簿発行積立金	2,600,090		
退職給与積立金	9,265,499		
国際交流積立金	2,000,000		
新事務所取得積立金	5,000,000		
固定資産合計	22,365,739	正味財産の部合計	94,483,133
資産の部計	124,506,453	負債正味財産の部計	124,506,453

※資産の内訳

■普通預金		
三井住友／新宿御苑前	13,903,925	
■郵便振替		
新宿 1 郵便局	52,679,839	
■定期預金		
三井住友／新宿通	28,000,000	
■未収入金		
投稿超過頁, 別刷分	417,500	
■立替金		
第 78 回産業衛生学会	7,000,000	
総会通知葉書印刷代	27,300	
	7,027,300	
■基本財産積立金		
三井住友銀行証書	3,000,000	
■役員改選積立金		
三井住友銀行通帳	500,150	
■名簿発行積立金		
三井住友銀行通帳	2,600,090	

■退職給与積立金

三井住友銀行通帳	9,265,499
■国際交流積立金	
三井住友銀行通帳	2,000,000
■新事務所取得積立金	
三井住友銀行通帳	5,000,000

※負債の内訳

■未払金		
役員改選旅費	59,800	
■預り金		
源泉税預り金	38,120	
■前受金		
平成 17 年度会費	20,660,000	
■退職給与引当金		
期末要支給額	9,265,400	

平成 16 年度一般会計正味財産増減計算書
平成 16 年 3 月 1 日から平成 17 年 2 月 28 日まで

科目	金額	
1. 増加の部		
(1) 資産増加額		
当期収支差額	6,119,328	6,119,328
役員改選積立金	150	
名簿発行積立金	1,300,090	
退職給与積立金	330,099	
国際交流積立金	0	
新事務所取得積立金	5,000,000	6,630,339
(2) 負債減少額		
増加額合計		12,749,667
2. 減少の部		
(1) 資産減少額		
名簿発行積立金	1,000,000	1,000,000
(2) 負債増加額		
退職給与引当金	330,000	330,000
減少額合計		1,330,000
当期正味財産増減額		11,419,667
前期繰越正味財産額		83,063,466
期末正味財産合計額		94,483,133

平成16年度収支計算書総括表

平成16年3月1日から平成17年2月28日まで

科目	北海道地方会	東北地方会	関東地方会	北陸甲信越地方会	東海地方会	近畿地方会	中国地方会	四国地方会	九州地方会	合計
1. 収入の部										
(1) 会費収入	533,000			357,000	1,662,000	1,646,000		216,500		4,414,500
(2) 助成金収入	297,000	421,500	4,878,000	654,000	1,120,500	1,816,500	648,000	247,500	1,098,000	11,181,000
(3) 事業収入	103,500		1,139,000		540,000	209,100				1,991,600
(4) その他収入	2,674	6	6,553	13	5,359,782	604,059	299	6	32	5,973,424
当期収入合計	936,174	421,506	6,023,553	1,011,013	8,682,282	4,276,659	648,299	464,006	1,098,032	23,560,524
前期繰越収支差額	4,566,381	1,533,606	3,576,364	1,704,708	6,123,293	3,341,992	7,787,548	1,808,089	2,000,662	32,432,643
収入合計	5,492,555	1,955,112	9,599,917	2,715,721	14,805,575	7,617,651	8,435,847	2,272,095	3,098,694	55,993,167
2. 支出の部										
(1) 事業費	628,536	319,300	4,826,264	840,000	7,069,875	3,889,341	541,610	283,920	987,424	19,386,270
(2) 管理費	526,310	56,880	452,068	422,433	1,326,205	1,121,786	200,083	190,118	274,839	4,570,722
(3) その他支出		53,000	1,050,000	740,000		300,000			60,000	2,203,000
当期支出合計	1,154,846	429,180	6,328,332	2,002,433	8,396,080	5,311,127	741,693	474,038	1,322,263	26,159,992
当期収支差額	-218,672	-7,674	-304,779	-991,420	286,202	-1,035,468	-93,394	-10,032	-224,231	-2,599,468
前期繰越収支差額	4,337,709	1,525,932	3,271,585	713,288	6,409,495	2,306,524	7,694,154	1,798,057	1,776,431	29,833,175
支出合計	5,492,555	1,955,112	9,599,917	2,715,721	14,805,575	7,617,651	8,435,847	2,272,095	3,098,694	55,993,167

平成16年度貸借対照表総括表

平成17年2月28日現在

科目	北海道地方会	東北地方会	関東地方会	北陸甲信越地方会	東海地方会	近畿地方会	中国地方会	四国地方会	九州地方会	合計
1. 資産の部										
(1) 現金預金	5,492,555	1,525,932	3,271,585	713,288	6,409,495	2,306,524	7,694,154	1,798,057	1,776,431	30,988,021
(2) その他流動資産										0
(3) 有形固定資産										0
(4) 積立金			452,774		3,312,814					3,765,588
(5) その他固定資産										0
資産合計	5,492,555	1,525,932	3,724,359	713,288	9,722,309	2,306,524	7,694,154	1,798,057	1,776,431	34,753,609
2. 負債の部										
(1) 流動負債										0
(2) 固定負債										0
負債合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 正味財産の部										
(1) 正味財産	5,492,555	1,525,932	3,724,359	713,288	9,722,309	2,306,524	7,694,154	1,798,057	1,776,431	34,753,609
負債及び正味財産合計	5,492,555	1,525,932	3,724,359	713,288	9,722,309	2,306,524	7,694,154	1,798,057	1,776,431	34,753,609

平成 16 年度収支計算書総括表
平成 16 年 3 月 1 日から平成 17 年 2 月 28 日まで

科目	専門医制度委員会特別会計	産業医部会	産業看護部会	産業衛生技術部会	許容濃度委員会	生涯教育委員会	労働衛生法制度検討委員会	作業環境測定検討委員会	合計
1. 収入の部									
(1) 会費収入		915,930	1,724,000						2,639,930
(2) 助成金収入	500,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	800,000	500,000	500,000	300,000	5,600,000
(3) 事業収入	2,918,000	943,000							3,861,000
(4) その他収入	16,172	65	222,950	12	6	1,474			240,679
当期収入合計	3,434,172	2,858,995	2,946,950	1,000,012	800,006	501,474	500,000	300,000	12,341,609
前期繰越収支差額	8,488,322	2,046,595	1,481,618	579,825	0	966,287	173,350	2	13,735,999
収入合計	11,922,494	4,905,590	4,428,568	1,579,837	800,006	1,467,761	673,350	300,002	26,077,608
2. 支出の部									
(1) 事業費	1,500,682	1,891,624	2,212,276	850,000	111,190	554,041			7,119,813
(2) 管理費	2,073,413	1,858,946	915,687	19,665	688,816	913,720	644,100	300,000	7,414,347
(3) その他支出									0
当期支出合計	3,574,095	3,750,570	3,127,963	869,665	800,006	1,467,761	644,100	300,000	14,534,160
当期収支差額	- 139,923	- 891,575	- 181,013	130,347	0	- 966,287	- 144,100	0	- 2,192,551
次期繰越収支差額	8,348,399	1,155,020	1,300,605	710,172	0	0	29,250	2	11,543,448
支出合計	11,922,494	4,905,590	4,428,568	1,579,837	800,006	1,467,761	673,350	300,002	26,077,608

平成 16 年度貸借対照表総括表
平成 17 年 2 月 28 日現在

科目	専門医制度委員会特別会計	産業医部会	産業看護部会	産業衛生技術部会	許容濃度委員会	生涯教育委員会	労働衛生法制度検討委員会	作業環境測定検討委員会	合計
1. 資産の部									
(1) 現金預金	8,348,399	1,155,020	1,300,605	710,172	0	0	29,250	2	11,543,448
(2) その他流動資産									0
(3) 有形固定資産									0
(4) 積立金									0
(5) その他固定資産									0
資産合計	8,348,399	1,155,020	1,300,605	710,172	0	0	29,250	2	11,543,448
2. 負債の部									
(1) 流動負債									0
(2) 固定負債	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負債合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 正味財産の部									
(1) 正味財産	8,348,399	1,155,020	1,300,605	710,172	0	0	29,250	2	11,543,448
負債及び正味財産合計	8,348,399	1,155,020	1,300,605	710,172	0	0	29,250	2	11,543,448

参 考

第 77 回日本産業衛生学会

収入合計	60,288,852 円
支出合計	60,288,852 円
差引残高	0 円

第 14 回産業医・産業看護全国協議会

収入合計	11,153,456 円
支出合計	11,153,456 円
差引残高	0 円

監 査 報 告

私達は、杉本賢司公認会計士立会いのもと、平成 16 年度経理における理事の職務の執行を監査するため、理事から事業の報告を聞き、重要な収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録等経理関係書類を閲覧し、その他必要と思われる方法を用いて監査した結果、次のとおり報告します。

1. 平成 16 年度（平成 16 年 3 月 1 日より平成 17 年 2 月 28 日）の収支決算は適正に表示しているものと認めます。
2. 理事の職務執行に関する不正の行為、または法令もしくは定款に違反する事実の有無については、指摘すべき事実はなく、適正かつ効率的な職務執行がなされたものと認めます。

以上

平成 17 年 3 月 29 日
 社団法人 日本産業衛生学会
 監事 高田 昂
 大本美彌子

平成 17 年度事業計画

1. 総会を平成 17 年 4 月 20 日に東京都において開催する。
2. 理事会を 4 回開催する。
3. 機関誌「産業衛生学雑誌」及び「Journal of Occupational Health」（第 47 巻：和文 6 冊，英文 6 冊，学会号 1 冊）を発行する。
4. 第 78 回日本産業衛生学会を平成 17 年 4 月 20 日～23 日にわたり、東京都において、関東地方会の担当（清水英佑企画運営委員長）で開催する。
5. 第 15 回産業医・産業看護全国協議会を平成 17 年 10 月 14・15 日に中国地方会・産業医部会・産業看護部会の担当（宇土博企画運営委員長）で、広島市において開催する。
6. 第 12 回産業衛生技術部会大会を平成 17 年 10 月 26 日に広島市において開催する。
7. 次の 9 地方会活動を行う。
北海道，東北，関東，北陸甲信越，東海，近畿，中国，四国，九州の各地方会。
8. 次の 3 部会活動を行う。
(1) 産業医部会 (2) 産業看護部会 (3) 産業衛生技術部会
9. 次の 7 常設委員会の活動を行う。
(1) 編集委員会 (2) 許容濃度等に関する委員会
(3) 生涯教育委員会 (4) 労働衛生関連法制度検討委員会
(5) 専門医制度委員会 (6) 表彰制度に基づく選考委員会
(7) 倫理審査委員会
10. 次の 27 研究会の活動を行う。
(1) 産業疲労研究会
(2) 振動障害研究会
(3) 職業性呼吸器疾患研究会
(4) 中小企業安全衛生研究会
(5) 有機溶剤中毒研究会
(6) 産業精神衛生研究会
(7) 放射線原子力保健研究会
(8) 腰痛研究会
(9) 頸肩腕障害研究会
(10) アレルギー・免疫毒性研究会
(11) 労働衛生史研究会
(12) 労働者体力問題研究会
(13) 健康教育・ヘルスプロモーション研究会
(14) 生物学的モニタリング・バイオマーカー研究会
(15) VDT 作業研究会
(16) アルコール問題研究会
(17) 産業神経・行動研究会
(18) 職域口腔保健研究会
(19) 温熱環境研究会
(20) 労働衛生国際協力研究会
(21) 産業保健情報システム研究会
(22) 就労女性健康研究会
(23) 化学物質取扱い産業保健研究会
(24) 産業保健マーケティング研究会
(25) 産業疫学研究会
(26) 職域における睡眠呼吸障害研究会
(27) 職域における喫煙対策研究会
11. 学会賞 1 名・奨励賞 1 名・功労賞 2 名に授与し、名誉会員・学会賞・奨励賞・功労賞の推挙を行う。
12. 専門医制度について昨年度に引き続き指導医及び専門医の更新及び専門医資格認定試験を行うとともに、通常の指導医認定方法である専門医からの指導医認定を行う。
13. 昨年度に引き続き産業看護師の登録を行う。
14. アジア地域を中心とした産業保健活動への協力を行う。
15. 臨床医研修制度の指導者養成コースを開催する。

平成17年度一般会計収支予算書
平成17年3月1日から平成18年2月28日まで

1. 収入の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	差異	摘要
(1) 会費収入	76,490,000	77,120,000	- 630,000	
正会員会費収入	70,000,000	70,000,000	0	@10,000円×7,000人
賛助会員会費収入	3,570,000	4,200,000	- 630,000	@30,000円×119人
購読会員会費収入	1,920,000	1,920,000	0	@12,000円×160人
過年度会費収入	1,000,000	1,000,000	0	
(2) 助成金収入	4,900,000	3,800,000	1,100,000	
医師会助成金収入	200,000	200,000	0	
学術定期刊行助成金収入	4,700,000	3,600,000	1,100,000	科研費
(3) 事業収入	2,400,000	2,400,000	0	
広告料収入	1,200,000	1,200,000	0	
投稿超過頁収入	800,000	800,000	0	
別刷収入	400,000	400,000	0	
(4) その他収入	4,910,000	2,010,000	2,900,000	
受取利息	10,000	10,000	0	
役員改選積立金取崩収入	0	1,000,000	- 1,000,000	
名簿発行積立金取崩収入	3,900,000	0	3,900,000	
雑収入	1,000,000	1,000,000	0	
当期収入合計	88,700,000	85,330,000	3,370,000	
前期繰越収支差額	81,382,794	74,153,872	7,228,922	
収入合計	170,082,794	159,483,872	10,598,922	

2. 支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	差異	摘要
(1) 事業費	70,000,000	65,400,000	4,600,000	
①機関誌費	32,800,000	32,800,000	0	
印刷費	21,600,000	20,400,000	1,200,000	360万円×6回
編集費	3,000,000	3,600,000	- 600,000	50万円×6回
編集委員会費	1,000,000	1,600,000	- 600,000	
発送費	7,200,000	7,200,000	0	120万円×6回
②助成金支出	32,200,000	26,400,000	5,800,000	
学会開催助成金支出	10,000,000	7,000,000	3,000,000	
次年度学会開催準備金	3,000,000	0	3,000,000	新規
部会助成金支出	3,000,000	3,000,000	0	産業医, 産業看護, 産業衛生技術
地方会助成金支出	10,500,000	10,500,000	0	@1,500円×7,000人
委員会費	3,000,000	3,300,000	- 300,000	許容, 生涯, 法制度, 専門医, 倫理
研究会費	2,700,000	2,600,000	100,000	27研究会
③国際交流費	1,500,000	1,500,000	0	
④データベース開発運用費	2,000,000	1,700,000	300,000	
データベース管理費	1,000,000	700,000	300,000	含個人情報保護保険
データベース改良予備費	1,000,000	1,000,000	0	
⑤産業保健指導医研修費	1,500,000	3,000,000	- 1,500,000	
(2) 管理費	28,090,100	25,690,100	2,400,000	
①運営費	8,400,000	6,000,000	2,400,000	
総会費	1,000,000	1,000,000	0	
理事会費	1,500,000	1,500,000	0	
役員改選費	0	1,500,000	- 1,500,000	
名簿発行費	3,900,000	0	3,900,000	
広報費	1,000,000	1,000,000	0	
会員報奨費	500,000	500,000	0	
運営雑費	500,000	500,000	0	
②事務費	19,690,100	19,690,100	0	
給与手当	12,000,000	12,000,000	0	
法定福利費	1,800,000	1,800,000	0	
賃借料	2,690,100	2,690,100	0	
通信費	1,200,000	1,200,000	0	
消耗品費	800,000	800,000	0	
雑費	1,200,000	1,200,000	0	
(3) その他支出	12,130,000	6,630,000	5,500,000	
役員改選積立金支出	500,000	0	500,000	
名簿発行積立金支出	1,300,000	1,300,000	0	
退職給与積立金支出	330,000	330,000	0	引当金にも同額を繰入
新事務所取得積立金支出	0	5,000,000	- 5,000,000	
特別学会助成積立金支出	5,000,000	0	5,000,000	新規積立
国際学会誘致積立金支出	5,000,000	0	5,000,000	新規積立
(4) 予備費	4,000,000	2,500,000	1,500,000	
当期支出合計	114,220,100	100,220,100	14,000,000	
当期収支差額	- 25,520,100	- 14,890,100	- 10,630,000	
次期繰越収支差額	55,862,694	59,263,772	- 3,401,078	
支出合計	170,082,794	159,483,872	10,598,922	

第 103 回労働衛生関連法制度検討委員会議事録

日 時：2005 年 2 月 19 日午後 1 時から 5 時

場 所：東京八重洲ホール 7 階会議室

出席者（五十音順，敬称略）：五十嵐千代，岸 玲子，甲田茂樹，中明賢二，原田規章，平田 衛，堀江正知，宮上浩史，（欠席：井谷 徹，上田 厚，矢野栄二）

1. 労働衛生関連の法制度の改正の動きについて

参考人・保原喜志夫・天使大学教授（北大名誉教授）による情報提供

- 1) 労働者のプライバシー権と個人情報保護（資料 103-2）
- 2) 労働安全衛生法などの改正に関して（資料 103-0）

2. 中小企業 WG の報告について（資料 103-1）

とりまとめを行った平田委員から，労働安全衛生マネジメントシステムの導入を中心にし，その実行，そのための事業所内部の体制整備，外部支援体制として労働衛生機関の法的位置づけ，支援に関連してインダストリアル・ハイジニストの新設や産業看護職の法的位置づけ，財源としての労災保険の予防給付などが述べられた。

労働者数，企業数など問題の大きさなどの前提を明示して欲しい，インダストリアル・ハイジニストの養成等は中小企業の問題を超えていて，養成は大学等の問題で産衛学会には限度がある，との意見があり，修正して再度提示し，委員会で再度議論の上で，委員会としてまとめることとなった。

3. 化学物質規制に関する厚労省の検討会の動きについて（資料 103-3）

5 月頃に議論のための会議を開くこととした。

4. 第 78 回産衛学会におけるパネルディスカッションについて（資料 103-2）

当委員会としては報告会の代替と位置づけており，その旨プログラム，ウェブサイトに記載するよう依頼する，パネル開催時には座長の一人でもある平田委員が冒頭に述べることであり，明確にすることとした。

5. 派遣労働の衛生管理に関する法的課題

アデコ（株）の廣尚典会員から，上記の問題提起があり，甲田委員から説明の後，今後の検討課題として取り上げる必要があることで一致した。

6. 次回は，4 月 20 日水曜日，午前 12 時～午後 3 時，慈恵医大中央棟 8 階会議室

議題は，自営業農業，中小企業，上述の派遣労働（廣会員からの説明）など。

追記：会計報告（次回第 104 回時に表を配布します）

昨年度繰越 173,350 円と今年度支給 500,000 円の収入合計 673,350 円に対し，委員旅費 354,200 円，WG 旅費 167,020 円，会議場借用費 54,250 円，旅費送金に係わる通信費・消耗品費 1,730 円，参考人・保原先生の旅費等 66,900 円，支出合計 644,100 円であったので，繰越 29,250 円となりました。なお，中小企業 WG で旅費・会場費で計約 18 万円使いました。

第 104 回労働衛生関連法制度検討委員会議事録

日 時：2005 年 4 月 20 日（水）12：00～15：00

場 所：東京慈恵会医科大学中央棟 8 階会議室

出席者（五十音順，敬称略）：五十嵐千代，上田 厚，岸 玲子，甲田茂樹，中明賢二（途中から次期委員被推薦者・野原誠一郎氏に交代し，同氏はオブザーバー参加），平田 衛，堀江正知，宮上浩史，

1. 「労働者の健康障害防止に係るリスク評価検討会」報告書（案）資料 104-1

今年 3 月に上記報告書（案）が出されたが，その趣旨は，多くの未規制物質を含めた労働者の健康障害防止に係わるリスク評価をすすめるための国の方策等を提案したものである。従来のような中毒・災害事例に触発された化学物質の衛生管理に係わる法規制の整備にこだわらず，広く健康障害が懸念されている化学物質を対象とし，国際標準を考慮したリスク評価の手法が取り入れられているのが特徴である。検討会委員でもある岸委員より，報告書の趣旨等が解説された。この中で，感作性・「シックハウス症候群」・化学物質過敏症などのリスク評価に馴染まない点や職場の自主管理の限界と法規制のあり方などの課題が未整理だが，労働者の健康障害防止に係わる化学物質のデータがない状態を考慮すれば大きな前進であろう，中小企業の産業保健活動を支援する上でも利用価値が高いのではないかと，等の期待がもたれるものであった。今後，法令への反映や行政の動きを注視する必要がある。

2. 看護職の法的位置づけ

新理事長も提案している産業看護職の法的位置づけについて，委員の間で意見交換を行った。産業看護部会は，産業看護師が 1,000 人に達したことから，認定産業看護師の設立を日本看護協会と検討してきたが，日本看護協会の考え方とは必ずしも一致するものではない。安衛法における産業看護職の法的な位置づけに関しても，産業看護部会の中でも具体的な方向性は明確にはなっていない。日本産業衛生学会では，認定産業医をめぐり厚生労働省（旧労働省）との間で様々なやりとりがあり，学会の認定産業看護職が直截に法律に反映されるか疑問が残る。そこで，産業看護職の法的位置づけについて，産業看護部会会員（五十嵐委員を通じて部会から推薦）を交えた WG を立ち上げることとなった。

3. 派遣労働者における労働衛生管理について 資料 104-2

廣尚典会員（（株）アデコ）から現況について，①登録労働者は，契約して派遣され，働きだして初めて労働者となる＝雇用関係が生じること，②契約先の要求としては製造業が多く，人材不足状態にある。派遣では雇用と指揮命令が分離しているが，請負では請負企業がすべて管理する点で異なる，③一般健康管理において，雇入れ時健診，継続的管理，復職時の就業面の配慮（派遣元がおこなうが，派遣先業務と絡み，連携を要し，効果的なガイドラインが必要）に課題がある，④派遣元の事業所は人数が多くても，大部分は派遣社員として外にあり，従来の製造業主体の方法・法令は適用しにくい，などの課題が報告された。

本問題に関しては、宮上委員と矢野委員を中心に、関係会員の協力を得て情報収集と、労働衛生管理の今後の方向性の取り纏めをおこなうこととなった。

3. 次期委員について

WGとして、労使、労働法関係者などに随時参加して貰うことが考慮される。野原氏を中明委員の後任として、理事会に提案する。

今回は、今年9月3日（土曜日）午後1時から5時まで、八重洲ホールでの開催を予定する。

平成 17 年度新入会者

[北海道] 大槻洋三, 杉岡良彦, 千葉未佳, 宮古嘉子 [岩手] 西村尚子, 村木真樹子 [宮城] 大河原雄一, 齊藤裕子, 鈴木律子, 高橋信孝, 丹野憲二, 塚田 甲 [秋田] 伊藤裕康, 尾留川美枝子, 渡邊亜紀子 [福島] 入谷啓子, 神田秀幸, 柚田 望 [茨城] 光村かの子, 小林由美子, 谷口和机, 友常祐介, 成田恵子, 西郡晴美, 吉田美子, 米原泰子 [栃木] 金澤正一郎, 小室好美 [群馬] 伊藤憲祐, 時庭里沙, 針塚重里, 渡邊隆子 [埼玉] 遠藤 敦, 大江智佳子, 新保秀樹, 高木淳彦, 寺内清高, 平岡史郎, 眞崎義憲, 山中正巳 [千葉] 阿部謙一, 石橋美奈子, 北村英之, 小曾戸明子, 島内憲夫, 高村美奈子, 中村真弓 [東京] 井谷衣里, 稲葉 裕, 岩城美津穂, 岩澤聡子, 氏橋隆幸, 白井弓美子, 大坂麻里枝, 大村尚美, 大室正志, 尾崎朱美, 柿崎美由紀, 唐國真由美, 軽部伸亮, 川久保建, 川崎和子, 川尻美子, 久保田隆一, 小宮山千賀, 齊藤加代, 齊藤亮三, 佐藤尚美, 佐藤菜保子, 塩谷賢一, 志水さおり, 鈴木義浩, 多賀典子, 飛田倫子, 豊島義博, 永井 恵, 永田貴子, 新納美美, 西原亜

紀子, 根本和枝, 浜田喜美江, 林田憲正, パーキンソン真由美, 平井耶苗, 藤田 浩, 古川晴子, 前本智子, 松永香里, 水野聡子, 水向絢子, 三橋裕行, 山本美和子, 吉田真里, 依田真紀子, 両金啓子, 渡辺二郎, 和田ゆかる [神奈川] 青柳直子, 朝山光太郎, 宇野律子, 浦田なつ美, 榎木園美由紀, 大川陽平, 岡田睦美, 河内啓仁, 熊澤美季, 黒田玲子, 小林貴喜, 小林和也, 齊藤 淳, 齊藤ひろみ, 白石照子, 杉原史恵, 鈴木一弥, 鈴木清美, 鈴木智子, 清野敦子, 関本敏雄, 相馬純子, 平 由佳, 蔦木美穂, 中村祐之, 西垣朝裕, 拝野貴之, 廣野 睦, 福島あゆみ, 保戸田久子, 村上千夏, 渡部幸子, 綿貫 誠 [新潟] 早川さゆり, 百都礼子 [福井] 新井芳行, 高山英之 [山梨] 小田切陽一, 丸山猛士, 若林園恵 [長野] 田中秀和 [静岡] 北野トモ子, 杉藤素子, 鈴木理恵, 吉岡 学 [愛知] 井上和代, 牛田光昭, 河合伸孝, 鈴森なつ恵, 高澤雅秋, 田中 完, 山本敬子, 吉井才司 [三重] 郭 鵬, 木田博隆, 許 蕾, 村本淳子, 渡辺省三 [滋賀] 尾崎麻衣 [京都] 内山淳子, 原田敬子 [大阪] 出水美佐子, 上田千鈴, 牛久保敦子, 大草世雄, 佐山淳代, 杉本典子, 高尾真智子, 中島忠久, 長岡亜記, 西嶋麻由美, 原田あゆみ, 朴 永大, 若杉美保 [兵庫] 小野誠二, 土井和代, 林充, 三木哲雄, 綿谷和男 [奈良] 東元京子 [和歌山] 平木信明, 吉益光一 [鳥取] 荻野隆一, 山川万里子 [岡山] 田辺直美, 吉崎裕美 [広島] 桑田和也 [徳島] 西美智代 [香川] 見市 昇, 福井敏樹 [愛媛] 浜井盟子 [高知] 小松 律 [福岡] 住澤知之, 高田麻衣子, 高橋文成, 田代美津子, 長崎真知子, 福田純子, 藤田周弥, 星子美智子, 真鍋憲幸, 宮村欣裕, 山本和彦 [佐賀] 家永佐智子, 徳永恵子, 山下晴子, 山下善功 [長崎] 高尾弘美 [熊本] 松下宏美 [宮崎] 宇野裕美 [鹿児島] 後藤孝史, 齊藤 薫

第 79 回日本産業衛生学会（第 1 報）

第 79 回日本産業衛生学会 企画運営委員長 佐藤 洋

1. 会期：平成 18 年 5 月 9 日（火）- 12 日（金）
特別研修会 5 月 13 日（土）
2. 会場：仙台市国際センター
3. 演題申込・原稿締切：2006 年 1 月中旬頃（予定）

詳細は、今後「産業衛生学会雑誌」に掲載するほか下記のホームページ等でも公開します。

連絡先：

〒 980-8575 仙台市青葉区星陵町 2-1
 東北大学医学系研究科環境保健医学分野
 第 79 回日本産業衛生学会事務局
 電話：022-717-8280 ファックス：022-717-8106
 e-mail: sanei79@ehs.med.tohoku.ac.jp
 URL: <http://ehs.med.tohoku.ac.jp/sanei79/>
 （準備ができ次第開設いたします）